

町ことばチェーン（We have を足していく・何個までつながる？）

() 組 なまえ _____

領域・形態・時間	話すこと [やり取り] 4人グループ→クラス 15分
ねらい	前の人が言ったものをくり返してから、自分の1つを足していく。We have の型を何十回も浴びながら、町の施設のことばを音のかたまりで覚える（活動2の道案内で使う語をここでそろえる）。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Make a circle. Four people.
4人で輪になり、言うじゅんばんを決める
- 2 S1: We have a library.
1人目は町にあるものを1つ言う（下のことばバンクから選んでOK）
- 3 S2: We have a library and a park.
2人目は前の人のものをくり返してから、自分の1つを and で足す
- 4 Keep going! How many?
3人目・4人目…と何周でもつづける。つながった数を下の表に書く
- 5 Oops! Start again from the next person.
止まったら、その人の次の人からやり直し（何度でも挑戦できる）

チェーンのきろく 何個までつながった？ 前の回の記録をこえよう

かい	つながった数	さいごまでつながったことば（書けたらでOK）
1	こ	
2	こ	
3	こ	

クラスのさいこう記録： こ（先生が黒板に書きます）

ことばバンク： station hospital library post office convenience store
supermarket restaurant bakery museum temple park zoo school
fire station police station bus stop

つなげ方： We have a library and a park and a station. (and でどんどん足していく) / 助けてほしいときは Help, please.

ルール

①前の人までのことばを、じゅんばんどおりにくり返してから自分の1つを足す ②思い出せないときは Help, please. と言えば、班のみんながジェスチャーや口の形で助けてよい ③止まっても失敗ではない。次の人から仕切り直して、また数をのばす

☆レベルアップ！ ことばバンクの絵カードを、言った順に机へ並べていく〈カード置きチェーン〉にすると、記憶が苦手な子も同じ土俵で挑戦できる。上級は a big park / a new library のように、ことばを1語ふやして続ける。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・先生が1人目になり、3人目まで先生が回して見せる。1周やって見せてしまえばルール説明はいらない（説明が長いほど、しゃべる時間が減る）
- ・見た目は記憶ゲームだが、ねらいは We have を何十回も浴びること。落ちた回数は数えず、班の記録がのびたことだけを取り上げる
- ・◎第2時は記録に残さない時間。順番が回ってきたとき全員が声を出しているか、Help, please. で助けを求められているかだけを見る